

デブレツェンの花祭り

ボゾー・ユーリア・リタ

毎年8月20日になると、デブレツェンの周辺が騒がしくなります。なぜなら「花祭り」と言う祭りが行われるからです。このイベントは国際的に人気があるので様々な街と村から興味を持つ人々が来ます。それに外国人のダンスグループとバンドも参加します。

プログラムは朝早く始まります。最初のプログラムは徒競走です。登録すれば誰でも参加できます。一番上手な走者は賞をもらえます。



デブレツェンの中心にあるコシュート広場では、一日中舞台上でポップコンサートや親子のプログラムが行われます。8月はとても暑いので、舞台のとなりにいろいろな冷たいものを買うことができます。また、たくさんの伝統製品とハンガリーの食べ物を売っている売店もあります。

祭りの一番大切なプログラムは行列です。大きな「花くるま」と言う乗り物が道をゆっくり通り過ぎていきます。この車の上に花でつくられた彫像があります。彫像はいろいろな形があります。たとえば動物やゆるキャラや歴史的なテーマなどです。国際的な海外のダンスグループとバンドは車と一緒に通り過ぎます。普通、コースは鉄道の駅からスタジアムまでですが、スタジアムでは「花くるま」が飾られ、再び見ることができます。暑い天気のせいで一日中立ちたくない人には、グランドスタンドに座る可能性もあります。今年は、スタンドのチケットは学生が350円で、大人が500円ぐらいでした。しかし3歳



以下は無料です。

昨年は、デブレツェンに大きな公園が出来上がりました。公園の中で、近代的な噴水があり、ここで「光を描く」ことができます。光を描くとは、高い水流に絵と動画を映すもので、とても 壮大で綺麗です。また数年間デブレツェンの大学の建物でも、光で描くプログラムが行われています。

最後に、夜にも花くるまとダンサーの行進が繰り返されます。最後に市長が演説をして、夜の9・10時ごろに花火が上がり、プログラムが終了します。

このイベントはデブレツェン市民の人生にとっても重要なものです。

伝統的なハンガリーの祭りに興味がありましたら、ぜひブレツェンの花祭りに来てください。

写真はボゾーカタリンが撮影しました。